

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月26日

計画の名称	茨木市総合交通戦略（2期）												
計画の期間	平成29年度～平成30年度（2年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	茨木市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅や公共交通機関の導入により交通結節機能を強化し、活力ある居住環境を形成する。また、JR総持寺駅をいかした賑わい創出など地域の魅力向上を目指す。 ・鉄道駅の改築により、駅利便性の向上と利用促進を図るとともに、JR茨木駅を中心とする市街地中心部の活性化を目指す。 												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	8,398	A	8,398	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初		H30末
1	地区計画区域内の住宅戸数の増加			
	庄一丁目地区地区計画区域内の住宅戸数	421戸	戸	635戸
	地区計画区域内の住宅戸数（戸）			
2	JR総持寺駅の乗降客数の増加			
	JR総持寺駅の日平均乗降客数	0人/日	人/日	18900人/日
	JR総持寺駅の日平均乗降客数（人/日）			
3	JR茨木駅施設の満足度向上			
	JR茨木駅施設の満足度	37%	%	72%
	市民の移動全般に関するアンケート調査による満足度（%）			

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—
茨木市総合交通戦略に基づき実施される要素事業：A全て								

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	茨木市	直接	茨木市	—	—	A-2 西河原歩専14号線	自由通路・歩道整備L=178m	茨木市	■					224	—	
	A01-002	道路	一般	茨木市	直接	茨木市	—	—	A-3 庄歩専24号線	歩道整備L=75m	茨木市	■					2	—	
	A01-003	道路	一般	茨木市	直接	茨木市	—	—	A-4 J R 総持寺駅南自転車駐車場	駐輪場整備A=1,600㎡	茨木市	■					327	—	
												小計						553	
市街地整備事業	A13-004	都市交通	一般	茨木市	間接	JR西日本	—	—	A-1 JR総持寺駅整備事業	鉄道駅設置	茨木市	■	■				5,923	—	
	A13-005	都市交通	一般	茨木市	直接	茨木市	—	—	A-1 JR総持寺駅整備事業	駐輪場整備A=125㎡	茨木市	■					0	—	
	A13-006	都市交通	一般	茨木市	間接	JR西日本	—	—	A-5 JR茨木駅駅舎改良事業	鉄道駅改良	茨木市	■	■				1,922	—	
												小計						7,845	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
外部有識者による茨木市建設事業評価委員会	令和2年3月
	公表の方法 茨木市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地区計画区域内の居住人口が増加しており、JR総持寺駅の開業やアクセス道路整備など都市基盤整備により居住環境の向上が図られている。 ・駅前広場やアクセス道路、駐輪場等の整備、バス停の設置等、交通結節点である駅が整備され公共交通の利便性の向上が図られるとともに、追手門学院の開校により乗降客数も増加傾向である。 ・エスカレーターや旅客トイレ設置等のJR茨木駅駅舎改良事業の結果、駅利便性の向上と利用促進が図られている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・JR総持寺駅と周辺道路をつなぐ歩道整備により回遊性が向上している。 ・JR総持寺駅の開業に伴い、自由通路の壁面を活用したアートプロジェクトが継続的に取り込まれ、地域の魅力向上が図られている。

○特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> ・阪急総持寺駅西口交通広場の整備計画が予定されており、バス路線の開設など総持寺地域の更なる公共交通の利便性の向上を図る。 ・JR総持寺駅が開業し、阪急総持寺駅や東芝工場跡地をつなぐ歩道整備等をいかした賑わい創出等により、地域の魅力向上を図る。 ・JR茨木駅については、西口駅前広場周辺の再整備等により交通結節点としての機能強化と市の玄関口としての更なるイメージアップや賑わい創出を図る。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	地区計画区域内の住宅戸数の増加	
	最終目標値	635戸
	最終実績値	421戸
2	JR総持寺駅の乗降客数の増加	
	最終目標値	18900人/日
	最終実績値	9100人/日
3	JR茨木駅施設の満足度向上	
	最終目標値	72%
	最終実績値	81%

庄一丁目地区地区計画区域内において民間の開発業者による土地利用が遅れているため。

実績値は平成30年度の1日平均の乗降客数であり、平成31年4月に開校した追手門学院の通学等による乗降客数が含まれていないため。

エスカレーターを整備したことにより、エレベーターとエスカレーターの使い分けが可能となり、これまでのエレベーター利用者の分散化が図られた。また、段差をなくした旅客トイレなど駅舎改良の実施により多くの方にとって使いやすい駅となり、満足度が向上したと思われる。